

2025 キャンパスビジット 学内芸術作品めぐり

人文学部 キリスト教学科

2025 年 12 月 23 日(火曜日)

案内スタッフ あゆ : G 棟のフレスコ画 ～ メインストリートの「馬小屋」

案内スタッフ はの : 図書館前の「ザ・グローブ」～ グリーンエリアの「祈るキリスト」

案内スタッフ ゆめ : パッヘスクエアの「パラダイスの木」～ 神言神学院

	<p>キリスト教学科のみなさんは G21 教室から出発します。</p> <p>まずは G 棟の廊下の壁に描かれている7つのフレスコ画を見ましょう。</p>
	<p>① G28左のドア 南山大学の建築全体をデザインしたアントニン・レーモンドによるフレスコ画です。ユリの花は清純を象徴しています。</p> <p>フレスコ画の上にラテン語が書かれています。 HOMINIS DIGNITATI (ホミニス・ディグニターティー) 意味は、「人間の尊厳のために」 これは南山学園のモットーです。</p>
	<p>② G28真ん中のドア フクロウは英知を象徴しています。</p> <p>VITAM IMPENDERE VERO (ウィータム・インペンデレ・ウェーロー) 「真実のために命をかける」</p> <p>古代ローマの詩人、ユージェネーリスの風刺詩の言葉(IV, 91)です。この言葉は、フランスの哲学者ルソーが自分のモットーにしていました。</p>

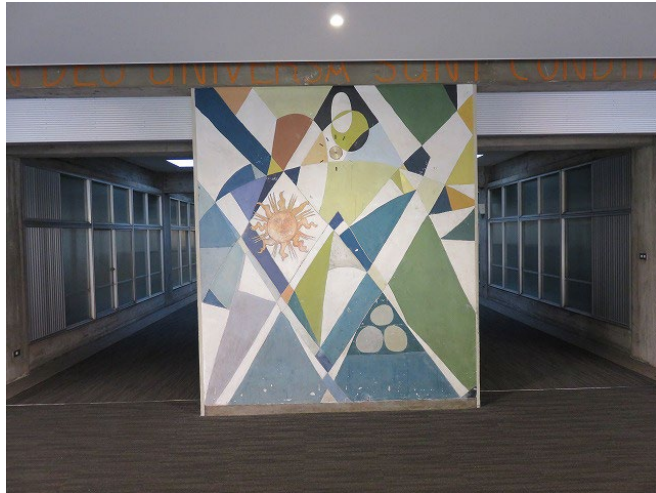


③ G28右のドア

鳩は平和の象徴であり、また三位一体の聖霊の象徴でもあります。

SPIRITUS EST QUI VIVIFICAT(スピーリトゥス・エスト・クイー・ウィーウィフィカット)

「命を与えるのは霊(精神)である」
(ヨハネによる福音書 6 章 63 節)



④ G27と28の間

ここには太陽が描かれています。大自然(神に創造された被造界)の象徴です。三つの円は三位一体を表しているのでしょうか。

IN DEO UNIVERSA SUNT CONDITA

(イン・デオ・ウーニウェルサ・スント・コンディタ)
「全ては神において形作られた」



⑤ G27左のドア

VIA VERITAS VITA

(ウィア・ウェーリタース・ウィータ) 「道・真理・命」

新約聖書のイエス・キリストの言葉です。
「私は道であり、真理であり、命である」
(ヨハネによる福音書 14 章 6 節)



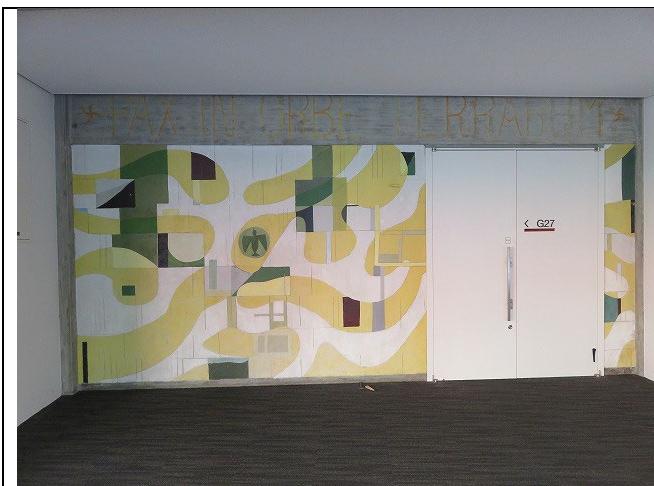
⑥ G27真ん中のドア

蜂は勤勉を象徴しているそうです。

LEX LIBERTATIS LEX CHARITATIS(レクス・リーベルターティス・レクス・カーリターティス)

「愛の法は自由の法」

愛は束縛ではなく、むしろ相手を自由にする力です。そして自由とは自分勝手ではなく、愛によって他者を尊重する姿勢に結びつきます。



⑦ G27右のドア

ここにも平和の象徴である鳩が描かれています。

PAX IN ORBE TERRARUM (パクス・イン・オルベ・テッラールム) 「全世界に平和あれ」

ローマ皇帝オト(在位 69 年 1 月～4 月)の肖像が刻まれた金貨にも、この言葉が刻まれています。

メインストリートに出て G30 教室に行きましょう。



G30 教室の出入口のフレスコ壁画

これもアントニン・レーモンドの作品です。

黒く縁取られた十字架を中心に、左右にキリストの恵みを表す白い光が広がり、この教室で真の教育が行われていることを人々に静かに告げているのだそうです。近づいてよく見ると、おやっ、こんなところに魚が…。見つけてみてください。

メインストリートから L 棟に向かいましょう。



L 棟の出入口にあるのは、南山大学第 3 代学長の**ヒルシュマイヤー神父の肖像**です。L 棟は、ヒルシュマイヤー記念館なのです。

これは、ドイツの女性芸術家**イルサ・フォン ライスナー**(1917-2008)の作品です。ライスナーの作品は他にもあります。これから見ていきましょう。

南山大学ライネルス中央図書館に向かいます。



メインストリートに置かれている馬小屋

これはイエス・キリスト誕生の場面を表したもので、クリスマスの飾りです。イエスの誕生物語は、マタイ版とルカ版の二種類があり、不思議な星と博士たち、そして、輝く天使と羊飼いたち、と、登場する人物などが異なるのですが、全員が馬小屋を訪れたとする、いわば全員集合版の馬小屋がこれです。貧しい馬小屋は誰もがアクセスできる場所であり、身分、階級、人種を越えた、全ての人のための救い主の到来を象徴しているのです。



南山大学ライネルス中央図書館前の
「ザ・グローブ」

これはアイルランド出身の芸術家**ジョン F. コンリス神父**(1928-2006)の作品です。

マスクメロンみたいにも見えますが、そうではありません。グローブ(globe)とは地球のことです。世界の平和がこの作品のテーマであり、国家ではなく言語がつながって地球を形成しています。



南山大学ライネルス中央図書館出入口の
モザイク壁画

南山大学図書館は 2023 年に改修されて、**南山大学ライネルス中央図書館**に名称変更されました。このモザイク画は 1964 年に建てられた旧図書館からのものです。

モザイクの向かいの階段を上ると、3 階に**学生セミナー室**があります。



R 棟に向かいましょう。

R 棟の北側出入口近くに置かれている母子像
「育む・今ここに」

日本芸術院賞受賞者である**吉田鎮雄**(よしだ・しずお 1930-1996)の作品です。もとは 2020 年に閉学した南山短期大学の杵中キャンパスにありました。



R 棟前庭の自動販売機近くにある聖マリア像
「慈悲」

イルサ・フォン ライスナーの作品です。これも、もとは南山短期大学の杵中キャンパスにありました。

聖母が左右に広がる外套(マント)で包むようにして疫病や災厄から人々を庇護している様子が描かれているそうです。



R 棟の隣にある、茶室(也有の席と方寸庵)

郷土が生んだ江戸時代の俳人、横井也有(よこい・やゆう)ゆかりの「也有の席」と旧名古屋茶道クラブの「方寸庵(ほうすんあん)」を解体移築したものです。右が也有の席、左が方寸庵です。
南山大学には、裏千家茶道部と表千家茶道部があり、裏千家茶道部がこの茶室を主な活動場所にしています。



リアン(食堂棟)

南山大学の学食のひとつです。2016 年に完成。
1 階がクラブハウスで、2 階が食堂です。

リアン(Lien)とはフランス語で「縁、絆、つながり」を意味します。クラブハウス前のピロティや食堂のデッキなど、学生同士の交流の場が広く設けられています。

メインストリートに戻り、本部棟に向かいます。



本部棟の出入口のプレート

南山大学は 1964 年に日本建築学会賞(作品賞)を受賞しました。受賞講評:「高価な仕上材の美しさや特異な構造体の奇抜さに頼ることなく、与えられた自然との調和と機能的な校舎群との結びつきのなかから、これまでに見られなかった大学校舎群の新しい空間的秩序を創造したことは、高く評価されなければならない。」また 2024 年には日本建築学会賞(業績賞)を受賞しています。



本部棟ロビーにある聖母像

「海の星」(Stella maris)

イルサ・フォン ライスナーの作品です。
もとはパッヘスクエアの旧デザインの噴水の中央に置かれていました。噴水が新デザインで作り変えられることになり、ここに移設されました。

海の星とは聖母マリアの呼称のひとつで、船乗りを導く海の星(女神)のイメージを継承しています。人生の荒波を進む人を見守ってくれるのです。



グリーンエリアに出ましょう。木立の中に立っているのは、「**祈るキリスト〈成し遂げられた〉**」です。

イルサ・フォン ライスナーの作品。
十字架上でイエスが息を引き取る前に「成し遂げられた」と言われた（ヨハネ福音書 19 章 30 節）その場面の像です。

この大きな岩は、岐阜県 揖斐郡(いびぐん) の山から運ばれてきたそうです。



パッハスクエアの噴水 「**パラダイスの木**」
コンリス神父の作品。噴水がこの姿になったのは 38 年前の 1987 年です。
パラダイスとはエデンの園のことです。そのエデンの園から一つの川が流れ出て園を潤し、そこから分かれて 4 つの川になったと聖書に記されています(創世記 2 章 10 節)。それはインダス川、ナイル川、チグリス川、ユーフラテス川のことらしいです。この噴水が 4 つの方角に水を流しているのは、その 4 つの川を表しています。



つまり、このグリーンエリアはエデンの園、楽園を象徴しているのです。南山大学の楽園です。
それに面して建つ**第二研究室棟の壁のモザイク**。これもコンリス神父の作品。モチーフは鳩です。

フレスコ画の説明の時にも言いましたが、鳩は平和の象徴であるとともに、聖霊の象徴でもあります。三位一体の、父(神)と子(キリスト=神の言葉)と聖霊(神の愛)の聖霊です。



パッハスクエアから細い小道を通って、宗教文化研究所に向かいましょう。

宗教文化研究所(略して宗文研)では、古代から現代にいたる、世界のさまざまな宗教についての研究が行われています。



宗文研のロビーにある「悲しみの聖母」

イルサ・フォン ライスナーの作品です。
膝に十字架で亡くなったイエスの頭を載せて、その額に手を置いています。

パッヘスクエアに戻りましょう。



M 棟南壁のレリーフ

アントニン・レーモンドの作品です。
南山大学のデザインのテーマは「自然との調和」
日の出の太陽、陸と海。鳩や魚も描かれています。

魚はキリストの象徴でもあります。魚はギリシャ語でイク투스。この語は「イエス・キリスト、神の子、救い主」という言葉の頭文字を並べたものでもあるからです。初期キリスト教徒たちの隠語でした。



レリーフの下に置かれている初代学長**パッヘ神父の石碑**。これはお墓ではありません。ここがパッヘスクエアなので、この石碑が置かれているのです。石碑には次のように書かれています。

アロイジウス・パッヘ神父。初代学長 1949-1957。
1948 年この地を新校舎の為に選ぶ。
汝らは世の光なり。山の上に建てられた街は隠ることなし。然(しか)く、汝らの光も亦(また)世の人の前に輝くべし。マテオ書5章より



次は**ロゴスセンター**。これは建物の名前です。中に**キリスト教センター**という部署があります。
毎週水曜日のお昼休み時間に、誰もが参加できる**ミサ**が行われています(ミサは 30 分間ほど)。
また中の図書室で、毎週火曜日のお昼休み時間に、誰もが参加できる「**一緒にご飯を食べよう会**」が催されています。各自お弁当を持参して参加しています。
キリスト教学科のパーティーなどもここのホールで開催されています。南山スコラカントールム(南山大学の聖歌隊)の部室も、この中にあります。



ロゴスセンターのすぐ近くに、**C 棟**があります。

1 階は、スイーツ・マジック・ラボというケーキ屋さんです。このケーキはとっても美味しいですよ。

2 階に学生課、3 階に教務課があります。必要な時はこの C 棟に来てください。



C 棟の横の階段を上ると、左に **S 棟**があります。

S 棟の入口を入ってすぐ右側に情報センターがあります。南山大学のネットワーク接続などに問題がある場合は、ここで助けてもらえます。

S 棟から更に階段を上って、神言神学院に行きましょう。



神言神学院(しんげん・しんがくいん)

これもアントニン・レーモンドによるデザインです。塔の中は聖堂です。塔全体の形は鳩がイメージされているようです。

ここは神父と神学生たちが暮らしている修道院です。中に教皇庁認可神学部の図書室があり、みなさんも利用することができます。

ではメインストリートに戻りましょう。



最後に、第一研究室棟の6階にある、

キリスト教学科合同研究室を紹介します。

何か問題があれば、この合研の職員の方々が助けてくださいます。

また、南山大学ライネルス中央図書館の3階にあるキリスト教学科生用の学生セミナー室(312と313)を使用したい時は、ここで手続きをします。

学内芸術作品めぐりは以上です。お疲れさまでした。G21 教室に戻りましょう。